

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		失語症Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		昼間部2年生		学期及び曜時間	通年 水曜3限	教室名	第4校舎301
担 当 教 員		山本 陽平	実務経験と その関連資格	言語聴覚士として病院勤務、成人領域の言語聴覚療法を行っていた。 訪問リハビリテーション業務にも従事し成人、小児領域の言語聴覚療法を行っていた。			
《授業科目における学習内容》							
〈学習内容〉失語症の評価、診断について学ぶ。 〈教育効果〉評価・診断した結果を客観的根拠に基づいてまとめ、報告できるようになる。							
《成績評価の方法と基準》							
学期末テスト(筆記試験)において60%以上の得点をもって合格とする。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
①教科書:失語症学第3版(医学書院)②教科書:言語発達障害学第3版(医学書院)※小児失語症の講義時に使用③教科書:標準失語症検査マニュアル改訂第2版(新興医学出版社)※SLTA演習時に使用④教科書:なるほど！失語症の評価と治療(金原出版株式会社)※認知神経心理学的アプローチの講義時に使用⑤参考図書:言語聴覚士テキスト第3版(医歯薬出版株式会社)							
《授業外における学習方法》							
予習および復習を確実に行うこと。教科書、参考図書だけではなく自身で他の図書や文献も積極的に読むことが望ましい。 失語症と他の言語聴覚障害との鑑別点や症状の相違を捉えながら理解を深めるよう学習を進めること。							
《履修に当たっての留意点》							
講義時間だけの学習では理解の定着は難しいため、予習・復習の時間を確保し、反復的に学習することが重要である。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	失語症の定義、症状、分類を理解し説明できる1		①教科書:失語症学第3版(医学書院)	【予習】教科書、参考図書の該当箇所を確認する 【復習】教科書、参考図書を見直し理解を定着させる	
		各コマにおける授業予定	失語症Ⅰの復習 1				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	失語症の定義、症状、分類を理解し説明できる2		①教科書:失語症学第3版(医学書院)	【予習】教科書、参考図書の該当箇所を確認する 【復習】教科書、参考図書を見直し理解を定着させる	
		各コマにおける授業予定	失語症Ⅰの復習 2				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	交叉性失語の定義、特徴について理解し説明できる1		①教科書:失語症学第3版(医学書院)	【予習】教科書、参考図書の該当箇所を確認する 【復習】教科書、参考図書を見直し理解を定着させる	
		各コマにおける授業予定	交叉性失語1				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	交叉性失語の定義、特徴について理解し説明できる2		①教科書:失語症学第3版(医学書院)	【予習】教科書、参考図書の該当箇所を確認する 【復習】教科書、参考図書を見直し理解を定着させる	
		各コマにおける授業予定	交叉性失語2				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	皮質下性失語の定義、特徴について理解し説明できる		①教科書:失語症学第3版(医学書院)	【予習】教科書、参考図書の該当箇所を確認する 【復習】教科書、参考図書を見直し理解を定着させる	
		各コマにおける授業予定	皮質下性失語				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	原発性進行性失語の定義、特徴について理解し説明できる1	①教科書:失語症学第3版(医学書院)	【予習】 教科書、参考図書の該当箇所を確認する 【復習】 教科書、参考図書を見直し理解を定着させる
		各コマにおける授業予定	原発性進行性失語1		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	原発性進行性失語の定義、特徴について理解し説明できる2	①教科書:失語症学第3版(医学書院)	【予習】 教科書、参考図書の該当箇所を確認する 【復習】 教科書、参考図書を見直し理解を定着させる
		各コマにおける授業予定	原発性進行性失語2		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児失語症の定義、特徴について理解し説明できる1	②教科書:言語発達障害学第3版(医学書院)	【予習】 教科書、参考図書の該当箇所を確認する 【復習】 教科書、参考図書を見直し理解を定着させる
		各コマにおける授業予定	小児失語症1		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児失語症の定義、特徴について理解し説明できる2	②教科書:言語発達障害学第3版(医学書院)	【予習】 教科書、参考図書の該当箇所を確認する 【復習】 教科書、参考図書を見直し理解を定着させる
		各コマにおける授業予定	小児失語症2		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	標準失語症検査(SLTA)を行える1	③教科書:標準失語症検査マニュアル改訂第2版(新興医学出版社)	【予習】 教科書、参考図書の該当箇所を確認する 【復習】 教科書、参考図書を見直す、各自で検査練習
		各コマにおける授業予定	標準失語症検査(SLTA)の演習 1		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	標準失語症検査(SLTA)を行える2	③教科書:標準失語症検査マニュアル改訂第2版(新興医学出版社)	【予習】 教科書、参考図書の該当箇所を確認する 【復習】 教科書、参考図書を見直す、各自で検査練習
		各コマにおける授業予定	標準失語症検査(SLTA)の演習 2		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	標準失語症検査(SLTA)を行える3	③教科書:標準失語症検査マニュアル改訂第2版(新興医学出版社)	【予習】 教科書、参考図書の該当箇所を確認する 【復習】 教科書、参考図書を見直す、各自で検査練習
		各コマにおける授業予定	標準失語症検査(SLTA)の演習 3		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	標準失語症検査(SLTA)を行える4	③教科書:標準失語症検査マニュアル改訂第2版(新興医学出版社)	【予習】 教科書、参考図書の該当箇所を確認する 【復習】 教科書、参考図書を見直す、各自で検査練習
		各コマにおける授業予定	標準失語症検査(SLTA)の演習 4		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	標準失語症検査(SLTA)を行える5	③教科書:標準失語症検査マニュアル改訂第2版(新興医学出版社)	【予習】 教科書、参考図書の該当箇所を確認する 【復習】 教科書、参考図書を見直す、各自で検査練習
		各コマにおける授業予定	標準失語症検査(SLTA)の演習 5		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	第1回～14回の内容を振り返り、知識の定着を図る	教科書①～③	【予習】 教科書、参考図書の該当箇所を確認する 【復習】 教科書、参考図書を見直す、各自で検査練習
		各コマにおける授業予定	これまで授業で触れた内容を振り返る(まとめ)		

授業の方法			内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第16回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	標準失語症検査(SLTA)を行える6		③教科書:標準失語症検査マニュアル改訂第2版(新興医学出版社)	【予習】 教科書、参考図書の該当箇所を確認する
		各コマにおける授業予定	標準失語症検査(SLTA)の演習6			【復習】 教科書、参考図書を見直す、各自で検査練習
第17回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	標準失語症検査(SLTA)を行える7		③教科書:標準失語症検査マニュアル改訂第2版(新興医学出版社)	【予習】 教科書、参考図書の該当箇所を確認する
		各コマにおける授業予定	標準失語症検査(SLTA)の演習7			【復習】 教科書、参考図書を見直す、各自で検査練習
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	失語症の評価・診断の流れについて理解し説明できる		①教科書:失語症学第3版(医学書院)	【予習】 教科書、参考図書の該当箇所を確認する
		各コマにおける授業予定	失語症の評価・診断の流れ			【復習】 教科書、参考図書を見直し理解を定着させる
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	失語症の言語治療における各期の特徴、注意点などについて理解し説明できる		①教科書:失語症学第3版(医学書院)	【予習】 教科書、参考図書の該当箇所を確認する
		各コマにおける授業予定	失語症の言語治療((急性期、回復期、維持期の言語治療)			【復習】 教科書、参考図書を見直し理解を定着させる
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	各種言語治療の理論と技法について理解し説明できる1		①教科書:失語症学第3版(医学書院)	【予習】 教科書、参考図書の該当箇所を確認する
		各コマにおける授業予定	言語治療の理論と技法(刺激法、行動変容アプローチ、機能再編成法、語用論的アプローチ、メロディックイントネーションセラピー)①			【復習】 教科書、参考図書を見直し理解を定着させる
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	各種言語治療の理論と技法について理解し説明できる2		①教科書:失語症学第3版(医学書院)	【予習】 教科書、参考図書の該当箇所を確認する
		各コマにおける授業予定	言語治療の理論と技法(刺激法、行動変容アプローチ、機能再編成法、語用論的アプローチ、メロディックイントネーションセラピー)②			【復習】 教科書、参考図書を見直し理解を定着させる
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語治療の理論と技法について理解し説明できる3		①教科書:失語症学第3版(医学書院)	【予習】 教科書、参考図書の該当箇所を確認する
		各コマにおける授業予定	言語治療の理論と技法(認知神経心理学的アプローチ)		④教科書:なるほど！失語症の評価と治療(金原出版)	【復習】 教科書、参考図書を見直し理解を定着させる
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまで学んだ内容を振り返り、知識の定着を図る		教科書①、③、④	【予習】 教科書、参考図書の該当箇所を確認する
		各コマにおける授業予定	これまで授業で触れた内容を振り返る(まとめ)			【復習】 教科書、参考図書を見直し理解を定着させる
第24回		授業を通じての到達目標				
		各コマにおける授業予定				
第25回		授業を通じての到達目標				
		各コマにおける授業予定				
授業の方法			内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容

第26回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第27回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第28回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第29回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第30回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第31回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第32回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第33回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第34回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第35回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			